

No. 35

2004年12月発行

# 淀川水系 流域委員会 委員会ニュース

<http://www.yodoriver.org>

## CONTENTS

- 第35回委員会の内容…………… P. 1
- 第35回委員会の説明資料より抜粋…………… P. 3
- 配付資料リスト…………… P. 10
- 委員会 委員リスト…………… P. 11
- これまで開催された会議等について…………… P. 13
- 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法・ご意見受付…………… P. 14

平成16年11月16日(火)、第35回委員会が行われました。



【カラスマプラザ21にて】

## 第35回委員会の内容

今本委員よりダムの基本となる考え方と検討方針についての説明がなされた後、委員との意見交換が行われました。

### 第35回委員会結果報告

庶務作成

開催日時：2004年11月16日（火） 16：05～18：45

場 所：カラスマプラザ21 8階大会議室

参加者数：委員37名、河川管理者18名、一般傍聴者221名

#### 1. 決定事項

- ・流域委員会意見書を作成するにあたり、流域住民から広く意見をお伺いする場として、12月5日（日）「住民の意見を聴く会」を13:30～17:30に開催する。
- ・地域部会で検討中の「整備計画進捗状況の見直し・点検」については、委員会の意見としてとりまとめるために、重複意見の集約や書式・体裁の統一等の作業を行う調整会議を設ける。メンバーは、江頭委員、中村委員、今本委員、榎屋委員、川上委員、池淵委員、本多委員とする。
- ・4年間にわたって活動してきた流域委員会の成果と課題について、次の新流域委員会に引き継ぐためにも、各委員から意見を提出してもらい、第37回委員会（1/11）までに意見を整理集約する。

#### 2. 審議の概要

##### ①ダムWGにおける検討経過報告と意見交換

今本委員より、ダムWG報告（案）を用いて、ダムの基本的な考え方と検討方針について説明がなされた後、意見交換が行われた。主な意見は以下の通り（例示）。

- ・個々のダムに関して具体的に経過報告を行う予定だったが、12/1および12/5のダムWGで河川管理者からダムと利水の説明が行われるため、その説明を待つということになった（委員長）。
- ・12/1および12/5のダムWGにおいて、ダムに関する12月までの調査・検討結果を中間とりまとめとして集約し、説明したいと思っている。ただ、全ての調査・検討が終わったわけではないので、河川管理者としてダムの答えを出すということではない（河川管理者）。

##### ○環境への影響に関する意見交換

- ・ダムの検討手順として、「①ダムの主たる目的とその効果について精査する。②ダムの主たる目的に関わるダム以外の方法とその効果について検討する。③河川整備計画の具体的な目標の実現性からダム建設の妥当性を評価する」と説明されたが、③を④に変更し、新たに③として「河川環境へのどのような影響（プラス、マイナス）を及ぼすか、検討する」を追加して頂くよう希望する。
- ・新河川法で環境が目的化された以上、ダムの環境への影響に関する検討を、ダムの具体的な検討手順の中に入れておくべきではないか。
- ・環境面の検討について、具体的に検証することは現時点では非常に難しい。個々のダムが環境に与える影響に関しては、委員会の力量では具体的に精査検討できないと思っている。ただし、どのような影響が出る恐れがあるのかについては、指摘しておく必要がある。
- ・ダムWG報告（案）の初めに、不可逆的影響と予防原則について書かれている。かなりハードルの高い評価をすると考えればよいのではないか。
- ・ダムWGで、環境について検討されていないという意見が多数出された。ダムが環境に与

える影響を委員会が精査検討するというのであれば、検討した方がよいのではないかと考えている。

##### ○地元住民との関わりに関する意見交換

- ・ダム建設は、地元で暗黙的な約束をしている。地元との歴史的な経緯についてどこまで検討できるか。地元住民への責任という点からも、何らかの意見を入れるべきだろう。
- ・ダム計画が当初の計画から変更されるのであれば、委員会は意見を言う義務がある。
- ・ダムと地域社会との関わりについては、きちんと意見を書きしていきたい（ダムWGリーダー）。

##### ○ダムの具体的な検討手順に関する意見交換

- ・「ダムの効果」については、マイナスの効果も検討すべきではないか。
- ・委員会の能力では、ダム事業費については、詳細な評価はできないだろう。ただ、これまでの事業費を参考に、常識的な範囲での評価なら可能だと考えている（ダムWGリーダー）。
- ・長期的な視点から検討する必要がある。環境や予算等については、長いスケールでの検討が必要。

##### ○治水に関する意見交換

- ・基礎案では、狭窄部上流以外の目標洪水を「あらゆる洪水」としているが、現実には、天井川等の危険な箇所では浸水被害が起きる可能性が高い。特に治水安全度が低い地域については、20～30年で実現できる目標が必要ではないか（委員長）。
- ・一目標洪水を決めずに、あらゆる洪水に対して破堤による被害を回避・軽減するという目標については、共通した認識だと思っている。目標洪水を決めて治水対策をするのではなく、現場を見ながら、例えば、河道に繁茂している樹木がある、若干掘削すれば流下能力が上がるような箇所については、整備計画の中で位置付けて、堤防補強と同時にやっつけていけばよいと考えている。結果としてどの程度の安全度が確保できるのか、評価すればよいと考えている（河川管理者）。
- ・目標はあくまでも「破堤による被害の回避・軽減」だが、浸水被害が発生することを前提にした防災対策が必要だ。ダムWG報告の初めで、ぜひ指摘して頂きたい。
- ・河川管理者が開催している住民対話集会で出された住民意見を参考に検討を進めていくべき。一住民対話集会で出された住民意見については、とりまとめ作業の途中段階にあるものも含めて、報告する（河川管理者）。

##### ②委員会の今後の運営について

資料1「前回委員会(2004.10.25)以降の状況報告」、資料3-1「平成16年度事業に係る進捗点検の検討経過」を用いて、委員会の今後の運営について、意見交換が行われ、「1. 決定事項」のとおり、承認された。

#### 3. 一般傍聴者からの意見聴取

一般傍聴者4名より発言があった。主な意見は以下の通り。

- ・本日、ダムWG骨子案が出なかったことに失望している。また、ダムWG報告では、個別のダムについても環境面の評価をしっかりと書いて頂きたい。
- ・川上ダム建設計画を総合的に評価すれば、1. 多様な生物の宝庫を破壊する、2. 活断層の存在、3. 貯水池への地滑りの危険性、4. 岩倉峡の疎通能力が4,300m<sup>3</sup>/s以上あり、昭和40年24号台風の引き伸ばし降雨でも被害が発生しない、5. ダムの集水面積が1/10、6. 利水者の撤退が相次いでいる。やはり、川上ダム計画は無理矢理の計画だ。流域対策を整備計画に盛り込むことが一番大切。
- ・参考資料1として、川上ダムの利水計画について各自治体に送付した申し入れ書を提出した。河川管理者には川上ダムに関する資料についても提出していただくようお願いしたい。
- ・ダムの代替案を徹底的に検討して欲しい。河川管理者の提案している代替案は既存の手法ばかりで新鮮味が欠けている。河川管理者には革新的な手法を出して欲しい。

以上

## 第35回委員会の説明資料より抜粋

第35回委員会では、資料2「ダムWG関連資料」を用いてダムWGの検討状況について、資料3「地域部会関連資料」を用いて地域部会の検討状況について報告がありました。以下に資料より一部を抜粋して掲載いたします。

### ■資料2より抜粋

#### ◎資料2-2 ダムWGの開催経過について

種類	回	実績	開催日	時間	場所	議題	備考
ダムWG	第1回	済	2004. 07. 11	13:30～18:00	キャンパスプラザ 京都	①ダムWGの運営方法について ②川上ダムに係る報告 ③余野川ダムに係る報告	一般傍聴の受け入れは行っていない
ダムWG	第2回	済	2004. 07. 18	13:30～18:00	キャンパスプラザ 京都	①調査検討に係る報告 ・琵琶湖環境 ・丹生ダム ・大戸川ダム ・天ヶ瀬ダム再開発 ②今後の検討の進め方について	一般傍聴の受け入れは行っていない
ダムWG	第3回	済	2004. 07. 25	13:30～18:00	梅田センタービル	①調査検討に係る報告 ・利水 ②調査検討に基づく質疑応答 ・5ダム、琵琶湖環境、利水	10:00～12:00まで委員のみによる検討会を開催
ダムWG	第4回	済	2004. 08. 19	10:00～17:00	梅田センタービル	①堤防補強および琵琶湖の水位操作の説明と議論 ②3ダムの目的および代替案の説明と議論 ③川上ダムおよび余野川ダムの目的および代替案の説明と議論	
ダムWG	第5回	済	2004. 09. 23	13:00～17:00	京都リサーチパーク	①川上ダムの代替案および猪名川狭窄部上流の目標規模の再検討他について ②3ダムの目的および代替案の検討について ③川上ダムおよび余野川ダムの目的および代替案の検討について ④ダムWGの進め方、堤防補強および琵琶湖の水位操作の検討について	10:00～12:00まで拡大学習会を開催
ダムWG	第6回	済	2004. 10. 04	13:00～17:00	ばるるプラザ 京都	①河川管理者提供資料に係る検討 ②3ダムWGに係る検討について ③川上ダムの目的と代替案の検討について ④余野川ダムの議論について ⑤ダムWGの今後の進め方	10:00～12:00まで拡大学習会を開催
ダムWG	第7回	済	2004. 10. 18	15:00～17:00	カラスマプラザ21	各ダムの検討事項に係る意見交換	10:00～15:00まで拡大学習会を開催
ダムWG	第8回	済	2004. 11. 10	16:00～18:00	京都リサーチパーク	猪名川狭窄部上流の目標洪水 大戸川ダムの治水効果 姉川・高時川の治水 琵琶湖の水位管理のあり方と治水上の課題 ダムWG報告(案)骨子に係る検討	10:00～15:00まで拡大学習会を開催

ダムWG	第9回		2004. 12. 1	13:00～18:00	京都弥生会館	(調整中) 各ダムの検討事項に係る意見交換 ダムWG報告に係る検討	
ダムWG	第10回		2004. 12. 5	9:30～12:00	カラスマプラザ21	(調整中) 利水に係る検討 ダムWG報告に係る検討	午後から住民の意見を聴く会を開催予定
ダムWG調整会議		済	2004. 08. 30	14:00～17:00	ばるるプラザ京都	ダムWGの今後の進め方について	
視察意見交換会		済	2004. 09. 26	10:00～21:00	大戸川ダム・天ヶ瀬ダムエリア	10:00～18:00：大戸川氾濫地域、鹿跳峡谷、塔の島を中心に視察。屋に移転 集落住民代表と懇談 18:00～21:00：宇治市内において地域住民との意見交換会	
視察意見交換会		済	2004. 09. 27	10:00～21:00	丹生ダムエリア	10:00～18:00：高時川、田川、姉川を中心に視察 18:00～21:00：長浜市内において地域住民との意見交換会	

### 資料2-3 提出資料一覧

#### 河川管理者からの提出資料一覧

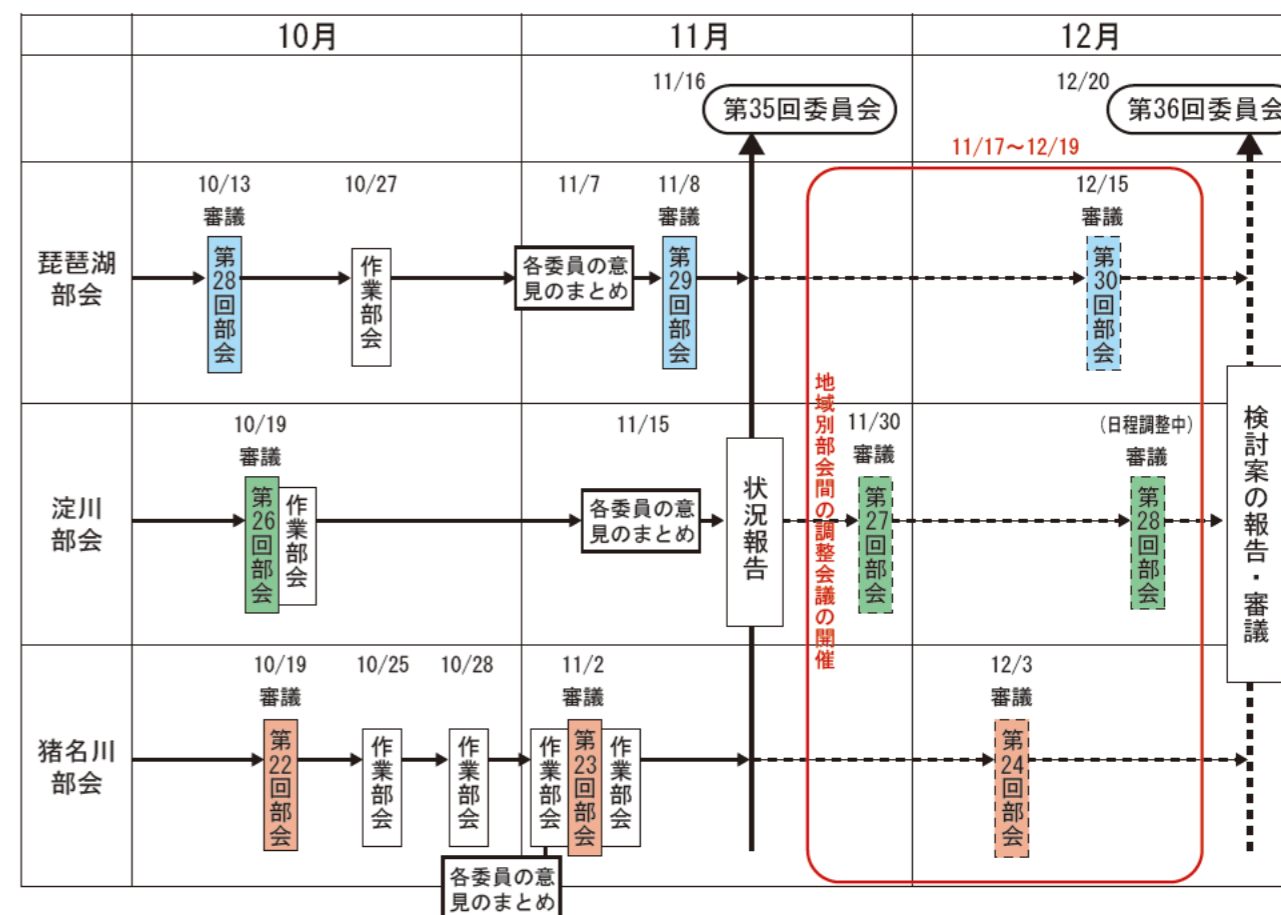
- 第1回ダムWG資料（平成16年7月11日実施）
  - 資料3-1 川上ダム計画に関する調査検討の説明状況
  - 資料3-2 川上ダム計画に関する調査検討（中間報告）
  - 資料4-1 余野川ダム計画に関する調査検討の説明状況
  - 資料4-2 余野川ダム計画に関する調査検討（中間報告）
- 第2回ダムWG資料（平成16年7月18日実施）
  - 資料1-1 琵琶湖環境に関する調査検討の説明状況
  - 資料1-2 琵琶湖環境全般について課題の整理
  - 資料1-3 琵琶湖の水陸移行帯における調査
  - 資料2-1 丹生ダム計画に関する調査検討の説明状況
  - 資料2-2 丹生ダム計画に関する調査検討（中間報告）
  - 資料3-1 大戸川ダム計画に関する調査検討の説明状況
  - 資料3-2 大戸川ダム計画に関する調査検討（中間報告）
  - 資料4-1 天ヶ瀬ダム再開発計画に関する調査検討の説明状況
  - 資料4-2 天ヶ瀬ダム再開発計画に関する調査検討（中間報告）
- 第3回ダムWG資料（平成16年7月25日実施）
  - 資料1-1 利水関係資料
  - 資料1-2 利水関係資料
  - 資料1-3 利水関係資料
- 第1回3ダムサブWG資料（平成16年8月7日実施）
  - 資料1-1 高時川の瀬切れの進行と解消の状況
  - 資料1-2 高時川流域周辺の気象・水文

- ③資料1-3 琵琶湖環境改善策
  - ④資料1-4 琵琶湖沿岸の浸水被害軽減対策
  - ⑤資料1-5 丹生ダム・大戸川ダム・天ヶ瀬ダム再開発について
  - ⑥資料1-6 淀川水系堤防補強対策について
5. 第4回ダムWG資料（平成16年8月19日実施）
- ①資料1-1 堤防強化について
  - ②資料1-2 琵琶湖の水位操作について
  - ③資料1-3 琵琶湖水位と丹生ダムの貯水池運用の関係
  - ④資料1-4 大戸川ダムと天ヶ瀬ダム再開発の下流への治水効果
  - ⑤資料1-5 天ヶ瀬ダム再開発の琵琶湖沿岸への治水効果について
  - ⑥資料1-6 川上ダムの効果について
  - ⑦資料1-7 余野川ダムの効果について
  - ⑧資料1-8-1 琵琶湖の水位低下抑制と異常渇水時の緊急水の補給
  - ⑨資料1-8-2 平成6年度 琵琶湖実績水位
  - ⑩資料1-9 流水の正常な機能を維持させるために必要な流量
6. 第2回川上ダムサブWG資料（平成16年9月3日実施）
- ①資料3-1 木津川上流域の降雨について
  - ②資料3-2 河道掘削の効果について
7. 第2回3ダムサブWG資料（平成16年9月11日実施）
- ①資料1-1 天ヶ瀬ダム再開発に伴う「塔の島」地区の河川整備について
  - ②資料1-2 高時川の瀬切れのメカニズム
  - ③資料1-3 丹生ダム貯水池および高時川の水質予測
  - ④資料1-4-1 琵琶湖の水位低下抑制と異常渇水時の緊急水の補給
  - ⑤資料1-4-2 平成6年度 琵琶湖実績水位
8. 第2回余野川ダムサブWG資料（平成16年9月22日実施）
- ①資料1-1 余野川ダム代替案に係わる資料
  - ②資料1-2 余野川ダム計画に関する調査検討 追加説明資料
9. 第5回ダムWG資料（平成16年9月23日実施）
- ①資料1-1 川上ダムの代替案について（調査検討の中間報告）
  - ②資料1-2 猪名川狭窄部上流の目標規模の再検討について
10. 第6回ダムWG資料（平成16年10月4日実施）
- ①資料1-1 「既往最大規模の洪水」の考え方について
  - ②資料1-2 琵琶湖から宇治川までの流下能力1,500m<sup>3</sup>/s整備について
  - ③資料1-3 琵琶湖で生息生育する生物の生息生育環境を修復するための琵琶湖水位操作
  - ④資料1-4 「塔の島」地区の河川整備について
  - ⑤資料1-5 大戸川・黒津地点流量と天ヶ瀬ダム流入量について
11. 第7回ダムWG資料（平成16年10月18日実施）
- ①資料1-1 木津川上流上野地区の治水対策案について
  - ②資料1-2 琵琶湖水位と瀬田川洗堰について

12. 第3回3ダムサブワーキング資料（平成16年11月8日開催）
- ①姉川・高時川の治水について
  - ②異常渇水対策および琵琶湖環境改善のための琵琶湖水位管理のあり方と治水上の課題について
  - ③第6回 姉川・高時川川づくり会議の説明資料について
13. 第8回ダムWG資料（平成16年11月10日開催）
- ①各ダムに関する環境調査について
  - ②各ダムに関する既往最大流量について
  - ③高時川流域の地下水利用について
  - ④猪名川狭窄部上流の目標洪水および対策について
  - ⑤大戸川ダムの治水効果について
  - ⑥姉川・高時川の治水について
  - ⑦異常渇水対策および琵琶湖環境改善のための琵琶湖水位管理のあり方と治水上の課題について
  - ⑧姉川・高時川川づくり会議の説明資料について

■資料3より抜粋

◎資料3-1 平成16年度事業に係わる進捗点検の検討経過



■資料4-2より

第35回委員会では、資料4-2「住民の意見を聴く会の実施要領(案)」を用いて、住民の意見を聴く会の開催について意見交換が行われました。以下に資料を掲載いたします。

住民の意見を聴く会の実施要領(案)

1. 目的

現在、委員会で検討を行っている5つのダム（川上ダム、丹生ダム、大戸川ダム、天ヶ瀬ダム再開発、余野川ダム）について、広く地域住民から意見を伺うことにより、委員会での検討の参考に資する。

2. 開催要領

日時：平成16年12月5日（日）13:30～17:30

場所：カラスマプラザ21

※9:30～12:00まで同会場で第10回ダムWGを開催し、引き続きの開催とする。

3. 会議の運営

①会議の進め方

- ・あらかじめ発言者を定め、発言の後、質疑応答を行う。  
※発言者の選定については、4. を参照。
- ・発言者は5つのダムごとに2名程度、およびダム問題全般2名程度の12名程度を想定する。
- ・司会進行は淀川水系流域委員会委員が行う。

②時間配分

- ・開会挨拶・趣旨説明等 10分
- ・発言および委員の質疑 180分（1ダムにつき30分）  
※30分×5ダム+ダム問題全般（30分）=180分
- ・一般傍聴からの意見聴取 20分
- ・総括等 10分
- ・途中休憩 20分

4. 発言者の選定要領

- ・発言希望者の公募を行い、応募者の中から選定する。
- ・発言希望者には、本委員会（11月16日開催の第35回委員会）で提出された、ダムWG報告（案）骨子を見た上で、400字以内で意見書を提出していただく。
- ・ダムWG（骨子）は、11月17日から、淀川水系流域委員会のホームページ上で公開する。ホームページにアクセスできない人については、郵送等に対応する。

- ・発言希望者からの、応募の際の意見は公開とする。
- ・公募期間は、11月17日（水）～24日（水）とする。
- ・発言者は、公募締め切り後、ダムWG作業部会（11月25日開催）において選定する。

5. 開催までのスケジュール

- 11月17日（水） ホームページ上でダムWG報告（案）骨子を公開  
発言者の公募を開始
- 11月24日（水） 発言者公募を締め切り
- 11月25日（木） ダムWG作業部会により発言者の選定
- 11月26日（金） 応募者に選定結果を通知（郵便）
- 12月 3日（金） 発言者からの発言要旨、及び発言用の資料提出締め切り
- 12月 5日（日） 開催日

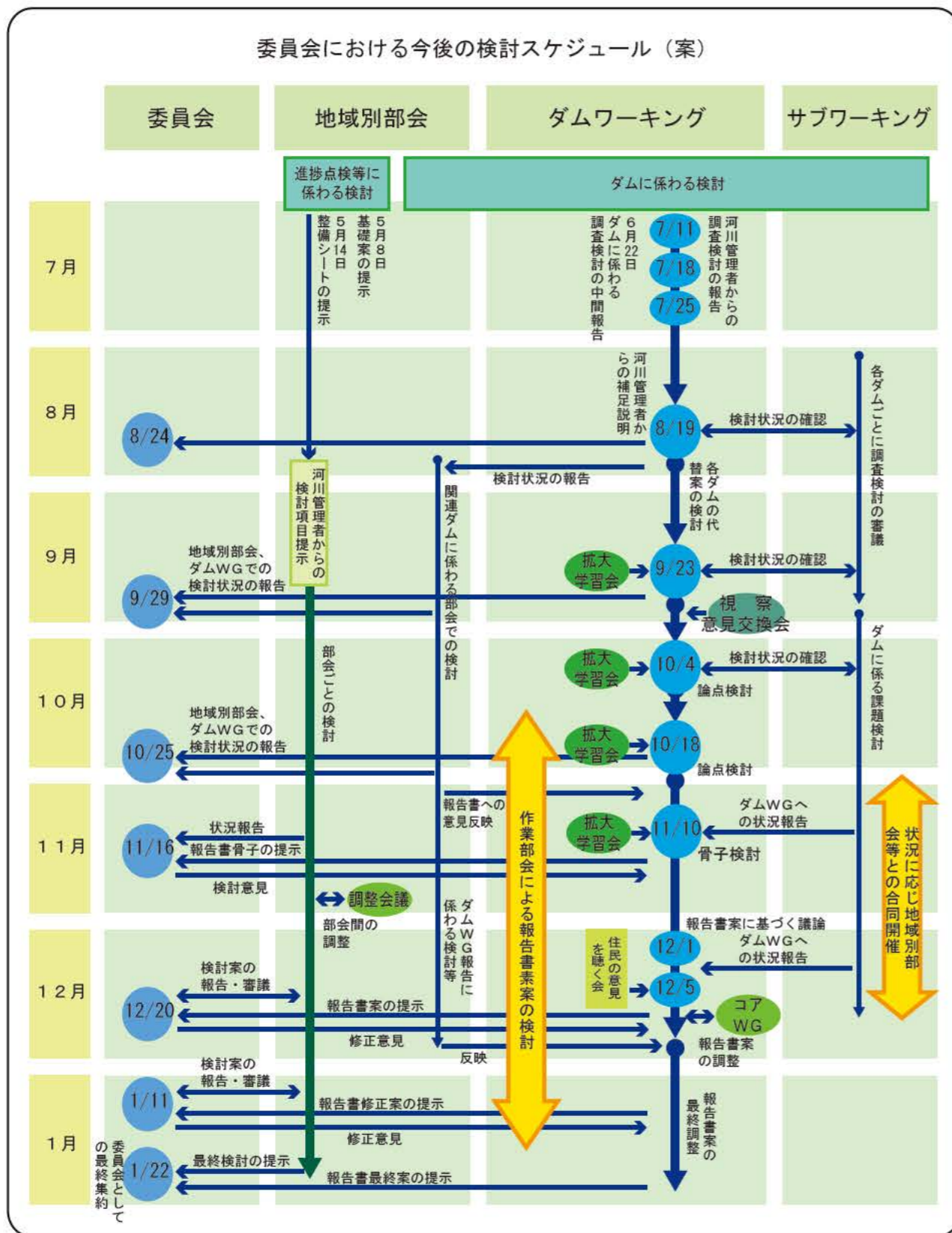
6. その他

- ・結果の広報については、委員会に準拠し、結果報告、結果概要、議事録、ニュースレター等により行う。



■資料4-1より

第35回委員会では、資料4-1「委員会における今後の検討スケジュール（案）」を用いて今後の検討スケジュールについて報告が行われました。以下に資料を掲載いたします。



配付資料リスト

資料リスト		資料請求 No
議事次第		R35-A
資料1	前回委員会（2004.10.25）以降の状況報告	R35-B
資料2-1	ダムWG報告（案）	R35-C
資料2-2	開催経過	R35-D
資料2-3	河川管理者からの提出資料一覧	R35-E
資料2-4	ダムWGでの審議経過	R35-F
資料3-1	平成16年度事業に係わる進捗点検の検討経過	R35-G
資料3-2	開催経過	R35-H
資料3-3	河川管理者からの提出資料一覧	R35-I
資料3-4	各地域部会での審議経過	R35-J
資料4-1	委員会における今後の検討スケジュール	R35-K
資料4-2	住民の意見を聴く会の実施要領（案）	R35-L
資料5	今後のスケジュール	R35-M
参考資料1	委員および一般からのご意見	R35-N

注：紙面の都合上、資料内容は省略しています。資料をご覧になりたい方はP.14の「配付資料及び意見書の閲覧・入手方法」をご覧ください。

## 委員会 委員リスト

2004.11.15現在（五十音順、敬称略）

No.	氏名	対象分野	所属等
1	芦田 和男 (委員長)	河川環境一般	京都大学 名誉教授 財団法人 河川環境管理財団 研究顧問
2	有馬 忠雄	植物	大阪府 自然環境保全指導員
3	池淵 周一 (利水部会長)	水資源(水文学、水資源工学)	京都大学防災研究所 教授
4	井上 良夫	地域の特性に詳しい委員(水辺の遊び)	BSCウォータースポーツセンター 校長
5	今本 博健 (治水部会長)	洪水防御(河川工学、水理学)	京都大学 名誉教授
6	江頭 進治	河道変動	立命館大学理工学部 教授
7	大手 桂二	砂防	京都府立大学 名誉教授
8	荻野 芳彦	農業関係(農業水利)	大阪府立大学大学院農学生命科学研究科 教授
9	嘉田 由紀子	地域・まちづくり (環境社会学、文化人類学、住民参加論)	京都精華大学 教授 滋賀県立琵琶湖博物館 研究顧問
10	川上 聡	地域の特性に詳しい委員 (水環境保全ネットワーク・市民活動)	NPO法人 全国水環境交流会 理事 木津川源流研究所 所長
11	川那部 浩哉 (琵琶湖部会長)	生態系	京都大学 名誉教授 滋賀県立琵琶湖博物館 館長
12	川端 善一郎	生態系	京大大学生態学研究センター 教授
13	紀平 肇	動物	中間法人 水生生物保全研究会 理事
14	倉田 亨	農林漁業	近畿大学 名誉教授 京都府内水面漁場管理委員会 会長
15	小竹 武	地域の特性に詳しい委員	大阪府立十三中学校 校医 小竹医院 院長 淀川ネイチャークラブ 会長
16	小林 圭介	植物(植物社会学)	滋賀県立大学 名誉教授 永源寺町教育委員会 教育長
17	宗宮 功 (環境・利用部会長)	水質(水質工学)	京都大学名誉教授 龍谷大学教授
18	田中 真澄	地域の特性に詳しい委員 (自然哲学)	岩屋山志明院 住職 鴨川の自然をはぐくむ会 代表 市民投票の会 共同代表
19	田中 哲夫	漁業関係(魚類生態学)	兵庫県立大学 自然・環境科学研究科 助教授
20	谷田 一三	動物 (河川生態学、昆虫分類系統学)	大阪府立大学総合科学部 教授
21	田村 悦一	法律(行政法)	京都橘女子大学文化政策学部 教授 立命館大学 名誉教授
22	塚本 明正	地域の特性に詳しい委員 (幅広い分野の人のネットとコーディネイト)	子供と川とまちのフォーラム 副代表
23	寺川 庄蔵	地域の特性に詳しい委員 (自然・環境問題全般)	びわ湖自然環境ネットワーク 代表

No.	氏名	対象分野	所属等
24	寺田 武彦 (淀川部会長)	法律	弁護士 日弁連公害対策・環境保全委員会 元委員長
25	寺西 俊一	経済(環境経済学、環境政策論)	一橋大学大学院経済学研究科 教授
26	中村 正久	水環境(環境政策、環境システム工学)	滋賀県琵琶湖研究所 所長
27	西野 麻知子	動物(陸水動物学)	滋賀県琵琶湖研究所 総括研究員
28	仁連 孝昭	経済	滋賀県立大学環境科学部 教授
29	畑 武志	農業関係	神戸大学農学部 教授
30	服部 保	植物(植物生態学)	兵庫県立大学 自然・環境科学研究科 教授
31	原田 泰志	漁業関係	三重大学生物資源学部 教授
32	尾藤 正二郎	マスコミ	神戸親和女子大学文学部 教授
33	畚野 剛	地域の特性に詳しい委員	川西自然教室 代表
34	藤井 絢子	地域の特性に詳しい委員	滋賀県環境生活協同組合 理事長
35	細川 ゆう子	地域の特性に詳しい委員 (住民運動)	猪名川の自然と文化を守る会
36	本多 孝	地域の特性に詳しい委員 (環境教育、人と自然のかかわり)	みのお山自然の会 会長
37	榎村 久子	地域・まちづくり (地域計画・景観文化論)	京都女子大学現代社会学部 教授 (社)なら女性フォーラム 副理事長
38	榎屋 正	地域の特性に詳しい委員	地球環境関西フォーラム 事務総長
39	松岡 正富	地域の特性に詳しい委員	滋賀県漁業青年部 理事 朝日漁業協同組合 監事
40	松本 馨	地域の特性に詳しい委員 (地域自然保護活動、淡水生物調査、環境 (自然保護)教育)	池田・人と自然の会 代表
41	水山 高久	治山・砂防	京都大学大学院農学研究科 教授
42	三田村 緒佐武 (住民参加部会長)	環境教育 (水環境教育、生物地球化学)	滋賀県立大学環境科学部 教授
43	村上 悟	地域の特性に詳しい委員 (鳥類生態、ラムサール条約)	琵琶湖ラムサール研究会 代表
44	森下 郁子	動物	大阪産業大学 人間環境学部 教授
45	矢野 洋	水質	神戸市水道局水技術部 調査役
46	山村 恒年	法律(行政法・環境法)	弁護士・元神戸大学教授
47	山本 範子	地域の特性に詳しい委員	流域住民
48	吉田 正人	自然保護(自然保護、生態学)	財団法人 日本自然保護協会 理事 江戸川大学 助教授
49	米山 俊直 (猪名川部会長)	水文化	京都大学 名誉教授 国際京都学協会 理事長
50	鷲谷 いづみ	植物(植物生態学、保全生態学)	東京大学大学院農学生命科学研究科 教授
51	和田 英太郎	水質(同位体生態学)	地球環境フロンティア研究センター プログラムディレクター
52	渡辺 賢二	水環境	上桂川漁業協同組合 元事務局長

注：対象分野欄の( )は委員の専門を示しています。

## これまで開催された会議等について

委員会	琵琶湖部会	淀川部会	猪名川部会
第1回 ~第6回 平成13年開催	第1回 ~第8回 平成13年開催	第1回 ~第10回 平成13年開催	第1回 ~第6回 平成13年開催
第7回 ~第15回 平成14年開催	第9回 ~第20回 平成14年開催	第11回 ~第20回 平成14年開催	第7回 ~第17回 平成14年開催
第16回 H15/1/17 (金)	第21回 H15/1/29 (水)	第21回 H15/7/5 (土)	第18回 H15/7/1 (火)
第17回 H15/1/24 (金)	第22回 H15/5/19 (月)	第22回 H15/8/26 (火)	第19回 H15/9/2 (火)
第18回 H15/2/24 (月)	第23回 H15/6/10 (火)	第23回 H15/10/13 (月)	第20回 H15/10/9 (木)
第19回 H15/3/27 (木)	第24回 H15/7/18 (金)	第24回 H16/8/25 (水)	第21回 H16/9/1 (水)
第20回 H15/4/21 (月)	第25回 H15/8/25 (月)	第25回 H16/9/17 (金)	第22回 H16/10/21 (木)
第21回 H15/5/16 (金)	第26回 H15/9/24 (水)	第26回 H16/10/19 (火)	第23回 H16/11/2 (火)
第22回 H15/6/20 (金)	第27回 H15/10/23 (木)	治水部会	利水部会
第23回 H15/7/12 (土)	第28回 H16/10/13 (水)	第1回 H15/3/8 (土)	第1回 H15/3/8 (土)
第24回 H15/9/5 (金)	第29回 H16/11/8 (月)	第2回 H15/3/27 (木)	第2回 H15/3/27 (木)
第25回 H15/9/30 (火)	環境・利用部会	第3回 H15/4/10 (木)	第3回 H15/4/14 (月)
第26回 H15/10/29 (水)	第1回 H15/3/8 (土)	第4回 H15/4/14 (月)	第4回 H15/9/2 (火)
第27回 H15/12/9 (火)	第2回 H15/3/27 (木)	第5回 H15/8/25 (月)	第5回 H15/10/24 (金)
第28回 H16/2/26 (木)	第3回 H15/4/10 (木)	第6回 H15/10/24 (金)	ダムWG
第29回 H16/5/8 (土)	第4回 H15/4/17 (木)	3ダムサブWG	第1回 H16/8/7 (土)
第30回 H16/6/22 (火)	第5回 H15/5/29 (木)	第1回 H16/7/11 (日)	第2回 H16/9/11 (土)
第31回 H16/7/29 (木)	第6回 H15/8/25 (月)	第2回 H16/7/18 (日)	第3回 H16/11/8 (月)
第32回 H16/8/24 (火)	第7回 H15/10/15 (水)	第3回 H16/7/25 (日)	川上ダムサブWG
第33回 H16/9/29 (水)	住民参加部会	第4回 H16/8/19 (木)	第1回 H16/8/3 (火)
第34回 H16/10/25 (月)	第1回 H15/2/24 (月)	第5回 H16/9/23 (木)	第2回 H16/9/3 (金)
その他	第2回 H15/3/27 (木)	第6回 H16/10/4 (月)	余野川サブWG
設立会	第3回 H15/4/11 (金)	第7回 H16/10/18 (月)	第1回 H16/8/11 (水)
発足会	第4回 H15/4/18 (金)	第8回 H16/11/10 (水)	第2回 H16/9/22 (水)
第1回 合同懇談会	第5回 H15/5/27 (火)	しっかりしてや!! 流域委員会	H16/2/28 (土)
第1回 合同勉強会	第6回 H15/8/28 (木)	ファシリテーターとの 検討会	H16/5/15 (土)
シンポジウム	第7回 H15/10/23 (木)	大戸川、天瀬ダム意見交換	H16/9/26 (日)
拡大委員会		丹生ダム意見交換会	H16/9/27 (月)
提言説明会	H15/1/18 (土)		

## 配付資料及び意見書の閲覧・入手方法

以下の方法で資料及び意見書を閲覧、または入手することができます。ただし、以下の点にご注意下さい。

- ・当日会場で部数の関係上、一般傍聴者に配付されなかった資料は、閲覧のみ可能とさせていただきます。
- ・当日会場で一般傍聴者に配付された資料で原本がカラーの資料は、白黒での提供となります。カラーの資料を希望される場合にはコピー代を実費でいただきます。なお、カラー資料についてはホームページ等での閲覧は可能です。

### ホームページによる閲覧

配付資料及び意見書は、ホームページで公開しております。

### 郵送

郵送による配付資料の送付を希望される方には、送料実費にて承っております。(希望部数が多い場合、またカラーの資料を希望される場合はコピー代も実費でいただきますので、予めご了承ください。)ご希望の方は、FAXまたは郵送、E-mailで庶務までお申し込みください。

### 閲覧

資料の閲覧を希望される方は、庶務までご連絡ください。

### 「意見書」の入手

意見書の送付を希望される方は、氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号と「意見書希望」を明記のうえ、下記までご連絡ください。  
※頂いた個人情報については、上記資料及び意見書の送付のみに使用させていただきます。

## ご意見受付

淀川水系流域委員会ではみなさまのご意見を募集しています。  
ホームページ、E-mailまたはFAXにてお寄せ下さい。

※氏名、郵便番号、住所、団体・会社名、電話番号をご記入のうえ、下記までお寄せ下さい。  
※寄せられたご意見は公表させていただく場合がございます。公表に支障がある場合にはその旨も併せてご記入いただきますよう、お願いいたします。  
※ご意見を公表する場合には、団体・会社名(または居住地)とお名前も公表いたしますので予めご了承下さい。  
※ご記入いただいた個人情報については、上記の意見の公表のみに使用させていただきます。

■ホームページ <http://www.yodoriver.org>

■E-mail [yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp](mailto:yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp)

■TEL 06-6222-5870

■FAX 06-6222-5871

淀川水系流域委員会 庶務  
みずほ情報総研(株)





---

## 淀川水系流域委員会 委員会ニュース No.35

---

2004年12月発行

【編集・発行】淀川水系流域委員会

【連絡先】淀川水系流域委員会 庶務

みずほ情報総研 株式会社

.....  
研究員：吉岡、篠田、鈴木、熊谷、松本  
事務担当：山根

---

〒542-0042 大阪市中央区今橋4-2-1（大阪富士ビル8階）

TEL: (06) 6222-5870 FAX: (06) 6222-5871

E - mail : yodogawa@gene.mizuho-ir.co.jp

●流域委員会ホームページアドレス

<http://www.yodoriver.org>

◆ニュースレターは以下の機関でも配布しています。

国土交通省 近畿地方整備局／淀川河川事務所／琵琶湖河川事務所／大戸川ダム工事事務所／淀川ダム統管理事務所／猪名川河川事務所／猪名川総合開発工事事務所／木津川上流河川事務所／水資源機構 関西支社／滋賀県 土木交通部河港課／京都府 土木建築部河川課／大阪府 土木部河川室／兵庫県 土木部河川課／奈良県 土木部河川課／三重県 伊賀県民局 等

\*ニュースレターは最新号、バックナンバーともに、ホームページでもご覧頂けます。